

平成29年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（冬季）入学試験

入学試験問題

日本語

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

問題I 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(30点)

ウェブ公開版では著作権法上の問題により、問題文原文を削除した。問題文は久保田勇夫「日本は経済政策の総ざらえを」による和文23行

問1. 本文中の【a】～【e】に入る最も適当な語を、次のア～クの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。(3点×5=15点)

ア 消極的 イ 逆説的 ウ 積極的 エ 相対的
オ 厳しく カ 甘く キ 格段に ク 同様に

問2. 下線部A、B、Dの「それ」はそれぞれ何をさしているか、具体的に答えなさい。(3点×3=9点)

問3. 下線部C「経済政策全般を総ざらえする必要がある」とあるが、それは具体的には何を行うことなのか、本文の主旨にそって40字以内で答えなさい。(6点)

問題II 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(50点)

ウェブ公開版では著作権法上の問題により、問題文原文を削除した。問題文は平田オリザ・蓮行『コミュニケーションカを引き出す：演劇ワークショップのすすめ』による和文64行

注1 レンジ：数値・分野などの範囲。広がり。

問1 本文中のカタカナで表記された下線部①～④を漢字で書きなさい。(2点×4=8点)

問2 本文中の下線部⑤～⑧の読みをひらがなで書きなさい。(1点×4=4点)

問3 本文中の【a】～【e】に入る最も適切な語を次の語群の中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。ただし同じものは一度しか使えません。(2点×5=10点)

ア そうすると イ だから ウ つまり エ それから オ しかし

問4 下線部(a)「若い人は「競争」がモチベーションにならない」のなぜか、本文中のことばを使って、50字以内で答えなさい。(6点)

問5 下線部(b)「先端的な企業ほど、会議のやり方などをいろいろと工夫しています」とあるが、それはなぜか、50字以内で説明しなさい。(7点)

問6 コミュニケーションデザインとは何か、本文中の語句を 60 字以内でそのまま抜き出す形で答えなさい。(5点)

問7 コミュニケーションデザインはなぜ必要なのか、100字以内で説明しなさい。(10点)

問題Ⅲ 作文 (20点)

近年、海外から日本へ旅行に訪れる人の数が増加傾向にあります。ですが、日本国内の旅行先では、宿泊するホテルや旅館の客室数が十分には整っておらず、今後も増加する外国人旅行者に向けての対策が必須であるといわれています。そのため、法的な規制を緩和することによって、民間の一軒家やマンションの一室を営業目的で提供する「民泊」に注目が集まっています。あなたはこうした対策について、より積極的に推進すべきだと思いますか。それとも、慎重に対応すべきだと考えますか。あなたの母国の事情と比較しながら、根拠を明らかにして、あなたの立場を述べなさい。

(380字以上400字以内)